

ミラノより
渥美充代ニュースレター



ポー川の岸辺から

礼拝とは何か

ミラノ賛美教会では、今月もオンライン、会堂と二つの礼拝が同時刻にささげられました。今月のオンライン礼拝では4人のメッセンジャーがチームとなって

「礼拝とは何か」というテーマでバトンを受け渡していきました。礼拝とは、祈りとは、ささげるとは、賛美とは何か。それは、とてつもなく大きなテーマなような気がしますが、実はとてもシンプルなことのようにも思います。それは、神様が私たちをどのような目的を持って造られたのかということに関係しているからです。

私たちは、神様を礼拝しないのであれば、他のものを礼拝するようになります。人の手で作られた偶像や圧

倒的な存在感を持つ人、自分が大切にしている物、また自分自身、というように礼拝する対象を探すようになるのです。人間の心にはそれほどまでに何かを礼拝したいという強い欲求が植えられているのです。それは、神様が私たちを礼拝者として造られているからです。私たちは神様に礼拝をささげるために造られたのです。

新しい歌を主に歌え

「新しい歌を主に歌え。全地よ主に歌え。

主に歌え。御名をほめたたえよ。日から日へと御救いの良い知らせを告げよ。」詩篇96：1,2

詩篇の96篇は、神様を王として賛美する賛歌の一つで、王として神様がこの地を支配しておられることを喜び、賛美し、礼拝することを歌っています。

この詩篇はイスラエルの民がバビロン捕囚から帰還した後に作られました。捕囚の苦しみと屈辱から解放された彼らの一番の喜びは、神様がおられる神殿で礼拝がささげられる、ということでした。

その神様に新しい歌を歌え、御名をほめたたえよ、との叫び、その命令で始まっている、この詩篇の「新しい歌」とは何でしょうか。パウロはⅡコリント5：17で次のように言いました。

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」

主によって贖われ、新しく生まれた者は、主に新しい歌を歌うことができます。それは、信仰告白をし、洗礼を受けて新しく生まれたその日だけのことではありません。日々心新たに主とお会いする時、私たちのうちに立ちのぼってくる、主への祈りと賛美です。

御霊により新たに湧き上がる救いの感動の中で、賛美



ミラノ賛美教会の公式 YouTube チャンネル
にメッセージもアップされています

の歌詞に心から「アーメン、本当にその通りです」となることです。神様への真実な感謝の告白です。そのことなしの礼拝とは名ばかりで、ささげ物と言っても、中身のないただの空箱のようなものではないでしょうか。

神であることを捨て、十字架で命を捨てられたイエス・キリストのその愛を受け取るために、私たちにできることは何もありません。その成し遂げられた救いをそのまま感謝して受け取り、その恵みの中で生き、その御救いの良い知らせを告げて（詩篇96：2）いくことだけなのです。イエスキリストによって救われた私たちが、その救いに基づいた新しい歌を、新しい心で、日々神様にささげていけるように願います。



バス停に貼ってある公共交通機関で移動する時のガイド
マスクは口だけでなく鼻まで！の注意

イタリアは今月中旬から新学期が始まり、朝のバスやトラムの中には、学生たちや小学校まで子どもを送っていく親御さんたちの姿が見え始めるようになりました。ソーシャルディスタンスをとるために座席や通路に貼り付けられていたシールも取り外され、通勤、通学時間はコロナ以前のように混雑しています。マスクをしているだけで昔と何も変わってないように思う時があれば、いやしかし、今までイタリア人の生活にはなかった「マスクを着用する毎日」こそ、このウイルスと闘った傷痕のように見えて、収束という言葉が語られなくなった困難な状況が続く中で、主の知恵と力を求めています。

日本におられる皆さんの日々の歩みにおいても、神様との深い交わりが祝され、悪しきものからの守りがあるようお祈りしています。

いつも熱いお祈りとご支援を心から感謝して
渥美充代

お祈りください

- * 霊肉たましいの健康が守られるように
- * 日々新しい心で主にささげる祈りとみことばの時のため
- * 経済的試練が続く教会のメンバーのため
- * 教会メンバーの神様との深い交わりの祝福のため

みなさまの心からの祈りとあたたかいご支援を感謝いたします。

新宿シャローム教会内 ゆうちょ銀行
口座番号：00190-0-484800
口座名義：渥美充代さんを支える会